

※この作品はフィクションであり、実在の人物・団体・事件などとは一切関係ありません。
また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。

私でいいなら...

いいよ??

僕にも
春がやってきた

ダメ元の告白が
成功したのだ...

あの一
景介くん?

うわっ

ビクッ

どうしたの?
すごいポーズと
してたよ

いや...
嬉しくて...

性癖
下着を隠して
お突き合い開始...

こんな可愛い
彼女ができるなんて
夢みたいだ!

隠水 彼女は痴女

まんまる女子で
赤マルキュン上昇♡ うしのみや

っ.....

カァァァ...



そして
もちろん

恋人同士だから
セックスも
好きなだけできる……

「のだけど
全てが上手くいって
るわけじゃない」

彼女はいつも
タオルケットで
体を隠していて

僕が彼女を
安心させて
あげられていない
のではと思うと
情けなく感じる……

恥ずかしがってる
だけかも
しれないけど……



それに
彼女で童貞を
卒業したばかりの
僕にとって

テクニクとか
そんなの
全く自信が無く
気持ちよくさせて
あげられてるのか
すごく不安だ

声や反応も
控えめな感じだし

それすらも
演技だったら…
とか考えてしまう

かわいい！
けど不安までは
拭えない…

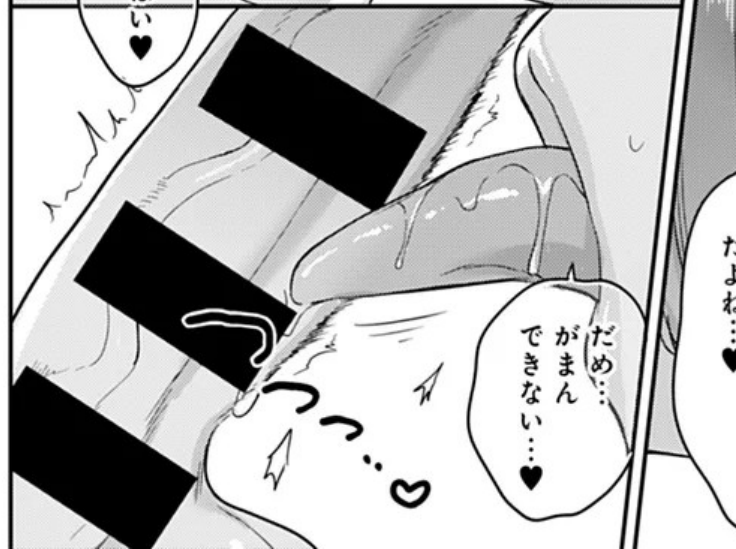
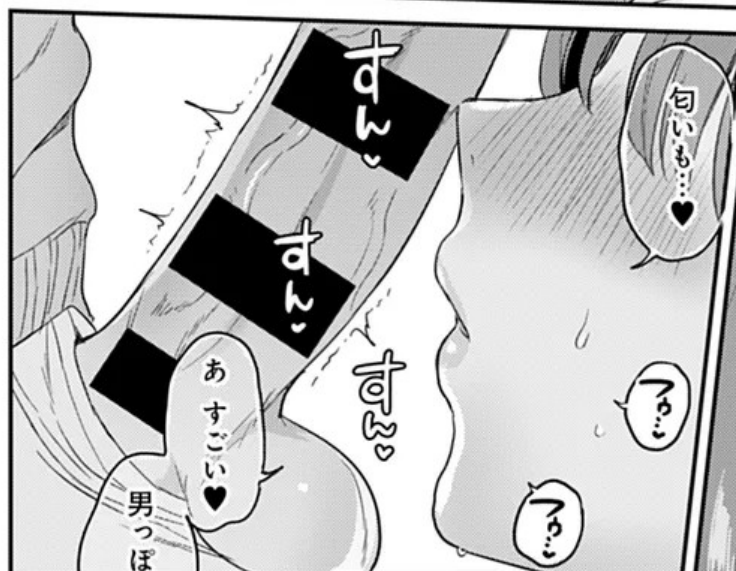
…うん♡

…気持ち
よかった？















今まであんまり
見せてなくて
ごめんね…

裸見られたら
興奮しちゃって
本性出そう
だったから

今まで
恥ずかしがってる
フリしてたの…



ずっとじっくり
見たかったものが
今 鮮明に……！



これからは

私のいろんな
ところ
全部見ていいよ…♡

じゃ
入れるね…♡

えっ

ちょ…待って！

むぐ…っ

きゅん♡



こんなの
気持ちよくて
断れないっ!!

あ...あ

んっ...

全部...
入っちゃった♡

生!!
全然感触が
違う...

ヒタ肉が絡み
ついてくるのが
はっきりする...

すごいね
これ...♡

おち○ちん
直接感じる...♡

うわっ

あっ

あの叶美ちゃんが

こんな
えっちな姿で
自ら腰を振って

いつもは
出さないような
大きな甘い声を…



いぬん…♡
喘ぎ声
あんまり可愛げ
ないよね…♡

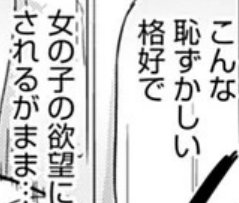
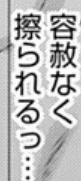
いやっ
そんなこと…

おち○ちん
気持ちよくて

可愛くいうつか
そういふのか



気が回らぬい…♡







また...!?

えっ

いろんな意味で理想の彼女を手に入れて喜んでいた僕だけど...

お願い♡

彼女は隠れ痴女☆END しき

だって朝登校中にしたのに...!

それはそうだけど...

体育で動いたら

また我慢できなくなっちゃって...♡

このままでは僕の体力がもつのか心配だ...